



一幸建設は昭和53年の設立以来、三河エリアで地域密着の建築と不動産に携わる会社です。本来ならば直接ご挨拶申し上げるべきところ不躰ではございますが、私どもの会社を知って頂きたいとの思いから、一度でも名刺交換などご縁を賜りました方に、ニュースレターを送付しております。『みんなの幸せをカタチにする』仕事を通じて関わる全ての人との幸せと社員の日々成長を糧に、地域の皆様に必要とされるお役立ち企業を目指しております。東三河での建築と不動産に関することでしたら、小さなことでもお気軽にご相談ください。

代表取締役 山本敬輔 営業スタッフ一同

先進的窓リノベ2024

補助金と省エネ効果 W でお得！

ひと昔前と比べ、戸建住宅が坪100万超えも珍しくなくなりました。労働時間規制による建設労働者の賃金上昇は、人手不足が深刻な我々の業界にとっては望ましいことですが、長引くインフレで資材高騰、建築費の高騰、日銀の政策金利の引き上げの発表など、人口減少も相俟って益々新築住宅市場が低迷するなか、見通しが更に厳しいものになっています。



その様ななか、国の環境政策やエネルギー政策の影響も受け、環境に配慮したリフォーム市場は活況が続き2024先進的窓リノベ事業などの省エネ補助金も過去最大規模と更なる追い風となり、新築の需要をカバーするのではと期待されていましたが、昨年と比べると伸び悩んでいるようです。

先月、LIXILリフォームショップの全国550店舗のFCオーナーが集まる大会が開催されました。年に一度、加盟店の業績進捗や今後の見通しなどについて共有する場となっています。昨年の今頃はもう締切るのでと言われていた省エネ補助事業の進捗率は1/3程度（窓リノベ27%、子育てエコ38%※8/21時点）となっているそうです。欧米諸国と比べ、リユース文化自体があまり浸透していないこともあると思われますが、リフォームに対応できる熟練の技能者（職人・現場監督）や工務店が急減していることもあるのではないかと思います。いずれにせよ、断熱リフォーム（窓リノベ）などの省エネリフォームを検討するなら今がチャンス！詳しくはWEBサイトをご覧ください・・・⇒



2024インターンシップ 8月1日、2日

今年も夏のインターンシップに豊橋工科高校の2年生4名と3年生の企業見学者1名に参加いただきました。スタートミーティングでは、学校の先生や社員も参加しカリキュラムを確認するだけでなく、学生・学校・企業側それぞれの立場での目的や意義、学びのポイントなどを共有しました。

2日間という短い間でしたが、出来る限り多くの現場や社員、取引先を含め、働く人達と触れ合ってもらい、単に仕事の内容というだけでなく、職業観やキャリアパス（人生ビジョン）についても伝えたいと思いました。

最後の振り返りミーティングでは、実際に仕事に携わる人達と触れあう事ができ、学生や先生から、授業だけでは学ぶことのない、働くという事について深く考える機会を得られたという発言を頂き、我々としても大変有意義な共育の場を実践することができました。

一幸建設インターンシップの目標

- 【学生として】
 - 働く人の経験を通して職業観を学んでもらう
 - 職業体験を通して自身の生き方について考える
- 【企業として】
 - 外部視点から自社の強み弱みを学ぶ
 - 働く人が自身の将来ビジョンを考える機会にする

一幸建設のキャリアパス

自分自身の人生のキャリアパスを市町村と合わせる

企業の成長と社員の成長はおなじものさし

地元密着東三河での不動産と建築のことなら小さなことでもお気軽にご相談下さい！

※ニュースレターがご不要な場合はお手数ですが 0532-46-9336 まで

2024 安全大会（一幸建設協力会・一幸建設株式会社）

7/22 一幸建設協力会・一幸建設株式会社 安全大会を行いました。

一幸建設社員や協力会社あわせて約 90 人が参加。安全施工優良事業者として 3 社の表彰を行いました。

一般工事部門：タマコシ(有) 、H W 事業部門：清田組 、住友林業部門：酒井建築

社員による安全報告、安全パトロール報告などを行なった後、中央労働災害防止協会より安全管理士・衛生管理士である牧野宏俊様をお招きし、安全講話「ヒューマンエラーと防止対策」を行なっていただきました。



環境変化と住み方の多様性

お盆休み、皆さんはいかがお過ごしされたでしょうか。私は、6歳の長男と愛知県民の森で川遊び、伊古部の海岸で海遊び、浜松市の浜名湖パルパルでプールに行ってきた、夏を満喫してきました。

私は、夫婦ともに実家が豊橋市ですので、帰省をするにも車で30分以内のところにあります。お墓参りも行きましたが、テレビのニュースで墓参り代行が話題になっていると聞きました。掃除やお参りを代行してもらえるとのことです。ご実家が遠方の場合、なかなか管理することも難しいとのことでした。



弊社でもご実家が空き家になった場合、掃除などを行う空き家管理業務を行っています。様々な理由で、ご実家が空き家の場合でも、すぐに売却をされないケースもあります。私の場合、職場も地元で通勤ありませんので、実家に行き来することは難しくないのですが、同級生で大学が他県でそのまま就職されることがあるということも良く聞きます。それでもここ最近、仕事をするなかで聞くのは、職場が東京、名古屋でもこちらの方に家を建てるという方が出てきました。働き方について、打ち合わせをオンラインで行ったり、会社に出社をしなくても良い企業もあつたりと変化しています。私はあまりイメージがつかないのですが、柔軟な働き方が出てくることで、不動産についても選択肢が増えるのだと思います。

住むこと、環境や、子育ての環境など様々な状況があるかと思いますが、親戚に会いに行くことは大切なことの一つかと思います。実家の近くが良いから豊橋市に戻ってきたという話を聞くと、地元住民である私にとっては嬉しく思うことでした。

建築不動産営業 筒井

残暑お見舞い申し上げます

暦の上では秋というのに厳しい暑さが続いております
どうぞご自愛くださいますようお願い申し上げます